

(セミナー名称)		
2021 年度第 2 回山形県がん化学療法セミナー		
担当者氏名：富岡佳久		所属：大学院薬学研究科 がん化学療法薬学分野
内線： (795)6851	e-mail：	
1. 計画の名称		
2021 年度第 2 回山形県がん化学療法セミナー		
2. 関連分野		
がん化学療法		
3. 実施報告		
<p>2021 年 8 月 1 日 (日) に 2021 年度第 2 回山形県がん化学療法セミナーを昨年度に引き続き Web 形式で実施した。</p> <p>一般講演として、公立置賜総合病院 薬剤部 会田俊先生から「FOLFIRINOX 療法の副作用管理」と公立置賜総合病院 栄養管理室 主任管理栄養士 遠藤博子先生から「化学療法センターでのがん病態栄養専門管理栄養士の活動」と題してご講演頂いた。また、特別講演では、山形大学医学部附属病院 臨床腫瘍学講座 副科長 福井忠久先生から「膵癌治療の最近の話題」と題してご講演頂いた。</p>		
4. 実施年月日・実施担当者・参加人数		
<p>2021 年 8 月 1 日(日)</p> <p>東北大学 大学院薬学研究科 がん化学療法薬学分野 教授 富岡佳久</p> <p>47 名が参加</p>		
5. 所要経費		
支出簿参照		
6. 成果		
<p>一般講演では公立置賜総合病院 薬剤部 会田俊先生から「FOLFIRINOX 療法の副作用管理」と題し、自施設で FOLFIRINOX 療法を実施した 45 症例についてイリノテカンによる下痢症状、オキサリプラチンによる末梢神経障害、骨髄抑制の各副作用対策について自施設での対応を踏まえて講演頂いた。患者負担が大きい治療レジメンのため、看護師との連携・情報共有による早期の副作用管理・介入の重要性について症例提示しながらご講演頂いた。また、公立置賜総合病院 栄養管理室 主任管理栄養士 遠藤博子先生から「化学療法センターでのがん病態栄養専門管理栄養士の活動」と題し、化学療法施行時の栄養障害の発生機序について解説頂き、自施設で実施している栄養指導や 2020 年 1 月から実施した外来栄養食事指導について講演頂いた。化学療法の副作用である食欲不振、骨髄抑制、味覚障害に対して外来栄養食事指導時に行っている指導内容について講演頂いた。栄養士による指導内容を拝聴する貴重な機会となった。</p> <p>特別講演では、山形大学医学部附属病院 臨床腫瘍学講座 副科長 福井忠久先生から「膵癌治療の最近の話題」と題し、罹患数の増加が予測されている膵癌について疫学、治療成績等について解説頂いた。膵癌治療アルゴリズムについてもエビデンスとともに</p>		

これまでに行われてきた臨床試験結果について解説頂いた。また、ゲノム異常と膵癌発症リスクについても講演頂き日々の研鑽の必要性を実感した。講演の中で患者・家族が自主的に有害事象に対処するためにも薬剤師による指導が重要であると話され、薬剤師としてモチベーションの上がる研修会であった。